

MFA

中期計画	2018-2022
長期計画	2018-2030

一般社団法人宮崎県サッカー協会



はじめに

宮崎県サッカー協会（MFA）は、「JFA2005年宣言」に伴い、2015年までに達成すべき目標「MFAの2015年の目標像」を掲げました。

そして、2015年に「MFAの2015年の目標像」の総括を行いました。その後の計画が途絶えてましたが、これからの宮崎県サッカー界のより一層の成長を期し、MFAが今後の13年間で力を入れて推進していく活動を整理し、「MFA中期計画2018-2022」「MFA長期計画2018-2030」として取り纏めました。

また、2016年3月には「MFAの理念」、「MFAのビジョン」、「MFAのバリュー」を策定しました。これは私たちサッカーファミリーが大切にしていけるべき価値観として定めたもので、県内サッカーファミリーの皆様と共有していきたいと考えています。

「MFAの理念」、「MFAのビジョン」、「MFAのバリュー」、そして「MFA中期計画2018-2022」及び「MFA長期計画2018-2030」に基づき、各地区協会、各種別カテゴリー、各種連盟団体を始めとする県内サッカーファミリーの皆様と今後も密に連携し、共により良い自立した宮崎サッカー界を創って行きたいと考えています。

2018年3月
一般社団法人 宮崎県サッカー協会
会長 橋田 和実

MFAの理念・ビジョン・バリュー

宮崎県 FA の理念

- ・サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

宮崎県 FA のビジョン

- ・サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、人々が幸せになれる環境を作り上げる。
- ・サッカーの強化に努め、宮崎県代表が活躍することで、県民に勇気と希望と感動を与える。
- ・常にフェアプレーの精神を持ち、県内並びに日本、更には世界の人々と友好を深め、社会に貢献する。

宮崎県 FA のバリュー

エ	ン	ジ	ヨ	イ	ー	スポーツの楽しさと喜びを原点とすること		
プ	レ	ー	ヤ	ー	ズ	ファースト	ー	選手にとっての最善を考えること
フ		エ		ア	ー	オープンかつ誠実な姿勢で公正を貫くこと		
チ	ャ	レ	ン	ジ	ー	成長への高い志と情熱で挑戦を続けること		
リ	ス	ペ	ク	ト	ー	関わりのある全てを大切に思うこと		



「MFAの2015年の目標像」の総括

- ①. 多くの県民の支持を得て、J加入を目指すクラブチームが活動している。
【達成】 テゲバジャーロ宮崎、J.FC MIYAZAKIの2チームが活動
- ②. 宮崎県フットボールセンターが設置され、その運営がなされている。
【未達】 現在、新富町に建設予定で進行中
- ③. 県内から1級審判員を新たに3名輩出する。
【達成】 中井恒氏、日高晴樹氏、和角敏之氏の3名を輩出
- ④. 全カテゴリーで九州大会に優勝し、全国大会ベスト4を実現している。
【一部のカテゴリーで達成】
全国大会優勝：国体成年男子(1種)、鵬翔高校(2種)、日章学園中学校(3種)
九州大会優勝：ホンダロックSC(1種)、テゲバジャーロ宮崎(1種)
宮崎産業経営大学(フットサル)、日章学園中学校(3種)
- ⑤. 登録チーム数は400チーム、登録選手数は12,000人を実現している。
【未達】 登録チーム数：338チーム、登録選手数：9,740人（フットサル除く）

新たな目標の設定

M F A 中期目標（2018～2022）

- ①. 宮崎県サッカーファミリー（サポーター除く）が15,000人になる。
- ②. 宮崎県代表チームが全国大会で優勝をしている。又、日本代表選手を1名輩出している。
- ③. J F A の都道府県チャートで30位以内の組織になる。
- ④. 宮崎県のクラブチームがJ3で活躍している。
- ⑤. 宮崎県フットボールセンターが充実した運営をしている。

M F A 長期目標（2018～2030）

- ①. 宮崎県サッカーファミリー（サポーター除く）が18,000人になる。
- ②. 宮崎県代表チームが全国大会で2回以上優勝をしている。又、日本代表選手を2名輩出している。
- ③. J F A の都道府県チャートで20位以内の組織になる。
- ④. 宮崎県のクラブチームがJ2で活躍している。
- ⑤. 宮崎県フットボールセンターが2箇所設置されている。

目標達成のための施策（サッカーファミリーの増加①）

①サッカーファミリー（サポーター除く）が15,000人【中期】、18,000人【長期】になる

	2016年度	2022年度	2030年度
サッカー登録者数	9,690	11,200	13,000
フットサル登録者数（J含む）	366	700	1,000
指導者数（フットサル含む）	506	849	1,347
審判員数	1,648	2,235	2,630
役員数	13	16	23
	12,223	15,000	18,000

（単位：人）

- ・1種登録の推進
- ・キッズプログラムの推進
- ・女子サッカーの普及、推進
- ・シニアサッカーの推進
- ・各種フェスティバル、リーグ環境の推進
- ・学校、教育現場への支援
- ・障がい者サッカーの支援
- ・プレー環境の充実
- ・フットサル登録、エンジョイ登録の推進
- ・指導者の育成
- ・審判員の普及推進と育成（ユース年代）
- ・施設整備の推進

目標達成のための施策（サッカーファミリーの増加②）

②. 技術委員会 指導者養成計画

(単位：人)

ライセンス種別	目標区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
S級	単年度		1			1			1			1		
	累積	1	2	2	2	3	3	3	4	4	4	5	5	5
A級	単年度	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	累積	21	23	25	27	29	31	33	35	37	39	41	43	45
B級	単年度	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	累積	87	107	127	147	167	187	207	227	247	267	287	307	327
C級	単年度	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	累積	266	286	306	326	346	366	386	406	426	446	466	486	506
D級	単年度	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	累積	224	244	264	284	304	324	344	364	384	404	424	444	464
合計	単年度	62	63	62	62	63	62	62	63	62	62	63	62	62
	累積	599	662	724	786	849	911	973	1,036	1,098	1,160	1,223	1,285	1,347

③. 審判委員会 計画

中期計画（2018～2022）

1. ユース審判員の育成と審判活動を確立する。
2. 600名のユース審判員登録を目指す。

長期計画（2018～2030）

1. ユースの試合（U-18・15・12）の多くをユース審判員で担当する。
（主審・副審・第4の審判員）

目標達成のための施策（全国優勝・日本代表選手の輩出）

②. 宮崎県代表チームが全国大会で優勝及び日本代表選手 1 名輩出（中期）、2 回以上優勝及び日本代表選手 2 名輩出（長期）している。

- ・ トレセン制度を軸とした育成体制の強化

 - 宮崎県「育成ビジョン」の充実

- ・ 宮崎県代表チームの強化

- ・ 指導者の育成と質の向上

目標達成のための施策（都道府県チャート①）

③. JFA 都道府県チャートで30以内(中期)、20位以内(長期)の組織になる。

2016年度	宮崎県	総合32位	220.2pt (定量17.0pt/施策203.2pt)
	山形県	総合30位	224.8pt (定量20.6pt/施策204.2pt)
	徳島県	総合20位	256.2pt (定量18.6pt/施策237.6pt)

【宮崎県】

47FA中

普及（選手登録、施設整備、キッズ、学校、障がい者サッカー、クラブ支援）	…	45.8 pt	(37 位)
育成（リーグ戦、代表選手選出、トレセン）	…	29.4 pt	(16 位)
強化（全カテゴリー、国体チームの全国大会での成績）	…	0.8 pt	(34 位)
審判（審判員数、審判資格ランク、講習会）	…	27.7 pt	(45 位)
指導者（指導者数、指導資格ランク、講習会）	…	23.8 pt	(26 位)
トップリーグ連携（Jリーグ、JFL、Fリーグ、Lリーグ、トレセン連携）	…	17.0 pt	(35 位)
競技会運営（全カテゴリー全国大会、日本代表戦、国際大会）	…	1.4 pt	(46 位)
基盤（財政、組織、人材、マーケティング、IT、社会貢献）	…	57.4 pt	(5 位)

目標達成のための施策（都道府県チャート②）

○普及

- ・登録者数の対策
- ・キッズ事業、女子事業の充実
- ・フットボールセンター及びサッカースタジアムの建設
- ・障がい者サッカーの支援

○育成

- ・リーグ環境の充実
- ・代表選手の輩出
- ・トレセン活動の充実

○強化

- ・トレセン制度を軸とした育成体制の強化（宮崎県「育成ビジョン」の充実）
- ・宮崎県代表チームの強化

○審判

- ・審判員の普及推進と育成（審判員資格昇格への対策）
- ・審判講習会の推進

○指導者

- ・指導者の育成と質の向上（指導者資格昇格への対策）
- ・指導者講習会の推進

○トップリーグ連携

- ・Jリーグチーム（昇格）への支援
- ・女子サッカーの普及と育成

○競技会

- ・サッカースタジアム建設
- ・全国大会誘致活動

○基盤

- ・中長期計画の策定
- ・マーケティングの強化
- ・諸規程の設置
- ・社会貢献活動の実施
- ・地区協会との連携推進
- ・メディカルの充実

目標達成のための施策（Jクラブ）

④. 宮崎県のクラブチームがJ3で活躍（中期）、J2で活躍（長期）している。

- ・ サッカースタジアム建設

- 行政への働き掛けの強化

- ・ Jリーグ百年構想クラブチームへの支援金（2018年度より）

- 長期構想積立金より拠出

- ・ J昇格に向けての諸活動の支援

- Jリーグチーム創設特別委員会を中心とした側方支援活動

目標達成のための施策（フットボールセンター）

- ⑤. フットボールセンターの充実した運営（中期）、2箇所以上設置（長期）。
- ・ フットボールセンター建設の早期実現
 - ・ 施設整備（利用、管理、運営）の推進と体制づくり
 - ・ J F A グリーンプロジェクトの活用
 - ・ 新富町との緻密な連携
 - ・ 他自治体への誘致活動

